

# 「竹島の日」記念式典 竹島・北方領土返還要求運動県民大会

日 時 平成24年2月22日（水） 13:30～16:10  
会 場 島根県民会館 中ホール （松江市殿町158）

主 催

島根県 / 島根県議会 / 竹島・北方領土返還要求運動島根県民会議

◇ 「竹島の日」記念式典

(13:30 ~ 14:30)

○ 主催者あいさつ

島根県知事

竹島・北方領土返還要求運動島根県民会議会長（島根県議会議長）

○ 来賓あいさつ

○ 要望書手交

○ 感謝状の贈呈

杉原由美子 様〔隠岐の島町〕

野本 晃史 様〔松江市〕

脇田 和彦 様〔隠岐の島町〕

○ 竹島領土権確立隠岐期成同盟会会長あいさつ

## ◇ 鼎談 “竹島問題を語る”

(14:40 ~ 16:10)

### ～ 竹島問題、過去から現在、そして未来へ ～

- ・竹島問題の現状や課題について確認をしつつ、東アジアの国際情勢などを踏まえ、今後の問題解決に向けた方途を探る。

#### 《講師》

##### ○ 加藤 達也 氏 (産経新聞ソウル支局長)

昭和 41(1966)年、東京生まれ。平成 3(1991)年産経新聞東京本社入社。浦和総局(当時)、夕刊フジ報道部などを経て平成 11(1999)年、社会部で警視庁公安部担当。

北朝鮮工作員、辛光洙(シン・グァンス)による原敎晁(ただあき)さん拉致事件などの取材を通して朝鮮半島と日本の関係について関心を高める。平成 16(2004)年 9 月から 6 カ月間、韓国に語学留学。平成 22(2010)年 11 月からソウルに駐在、北朝鮮による延坪島砲撃や金正日死亡を取材。平成 23(2011)年 11 月より現職。

##### ○ 佐々木 茂 氏 (松徳学院高等学校教諭)

昭和 28(1953)年隠岐郡隠岐の島町出身。県立松江北高等学校など公立高等学校勤務を経て、平成 22(2010)年度から現職。第 1 期竹島問題研究会委員を経て、第 2 期竹島問題研究会副座長に就任。

専門は日本近代政治史。日本歴史学協会、史学会、日本史研究会、全国社会科教育学会の会員他。著書に『日本史教育における造形と色彩』『地方史辞典』『歴史地理教育実践選集第 13 巻』(以上、共著)等

##### ○ 下條 正男 氏 (拓殖大学国際学部教授)

昭和 25(1950)年長野県生まれ。國學院大學大学院博士課程修了。昭和 58(1983)年韓国三星綜合研修院主任講師、市立仁川大学校客員教授を経て、平成 10(1998)年帰国。翌年拓殖大学国際開発研究所教授、平成 12(2000)年同大学国際開発学部アジア太平洋学科教授に就任、現在に至る。

専攻は日本史。第 1 期および第 2 期竹島問題研究会座長、元 Web 問題研究所所長。著書に『日韓・歴史克服への道』(展転社)、『竹島は日韓どちらのものか』(文春新書)他。



メ 毛 欄

